

当社の原子力発電所の状況

2022年4月
関西電力株式会社

目 次

1. 再稼動への取組み

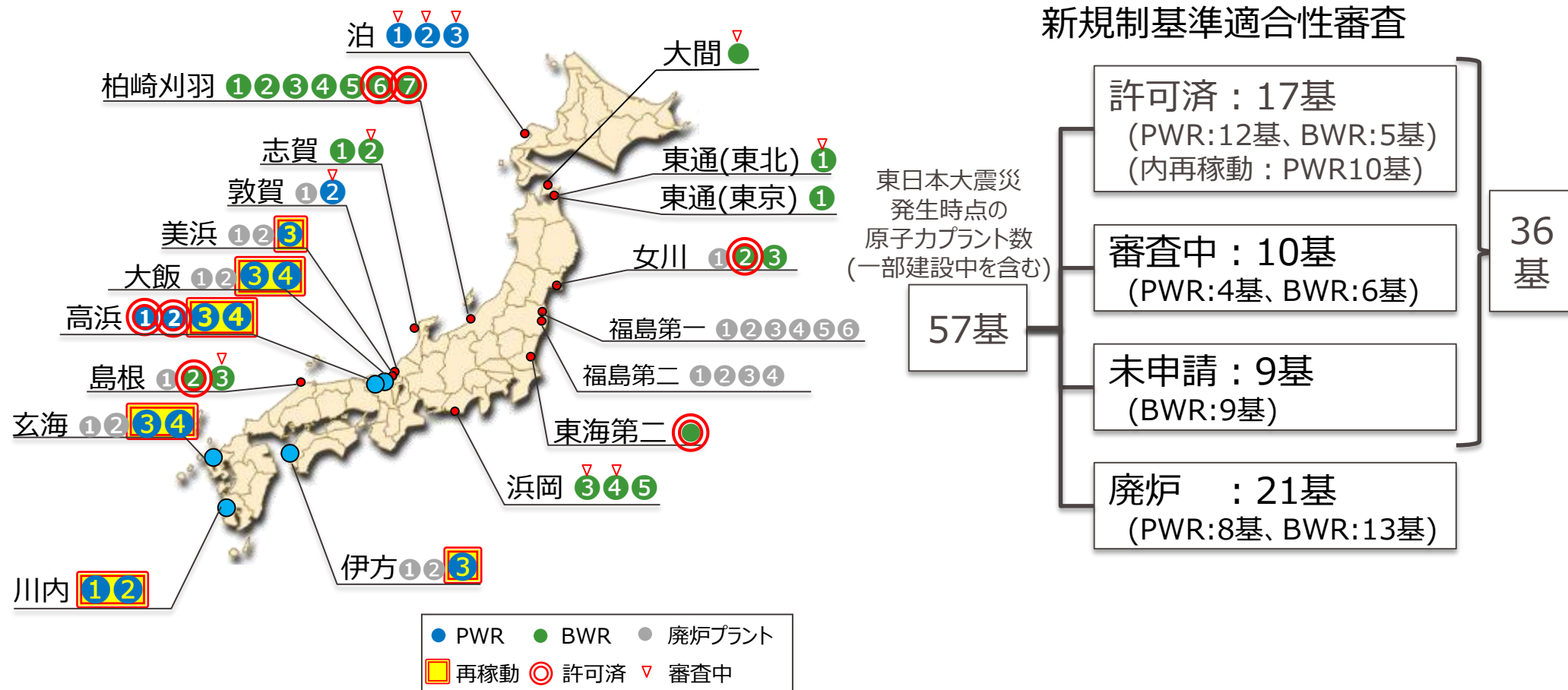
2. トピックス

（１）特定重大事故等対処施設の概要

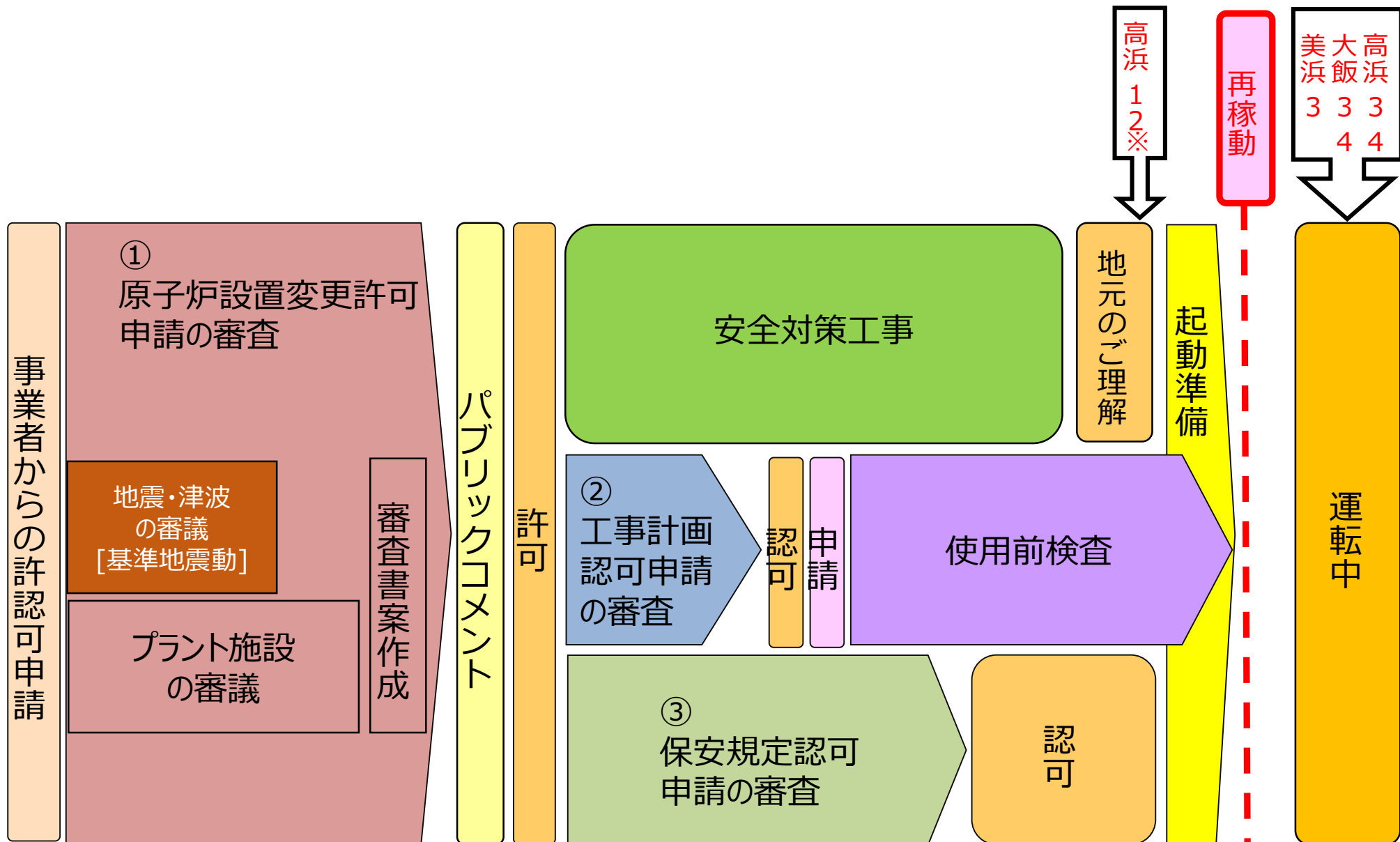
（２）廃止措置の状況

3. まとめ

1. 再稼動への取組み



- 許可済のプラント17基のうち、当社のプラントは7基。
- また、40年を超える期間の運転を認められているプラントは全国で4基。
うち、当社では美浜3号機(再稼動済)、高浜1,2号機の3基。



※ 高浜1, 2号機への再稼動について地元のご理解を頂いた。

原子力プラントの状況

5

	2021年度				2022年度				2023年度			
美浜 3 号機	6/29 (7/27) ▼10/23				▽10/20 (11/14)				12/13 3/5 ▽ (4/1)			
	定期検査	運転	定期検査		運転		定期検査					
高浜 1 号機					6/3 (6/28) ▽				運転			
	定期検査						運転					
高浜 2 号機					7/15 (8/9) ▽				運転			
	定期検査						運転					
高浜 3 号機	3/1 ▼				▽未定※1				7/12 9/29 (10/24) ▽			
	運転		定期検査	運転		定期検査	運転					
高浜 4 号機	▼4/15 (5/13)				▽6/8 ▽10/24(11/18)				12/16 ▽			
	運転		定期検査	運転		定期検査		運転		定期検査		
大飯 3 号機	▼7/5 (7/30)				▽8/23 ▽12/22 (1/16)				2/15 ▽			
	定期検査	運転		定期検査	運転							
大飯 4 号機	3/11 ▼				▽7/6 (8/1)				8/31 11/3 ▽ (11/28)			
	運転		定期検査	運転		定期検査	運転					

※ 1 : 蒸気発生器伝熱管損傷について対応中

() は総合負荷性能検査受検実績・希望日

2. トピックス

- (1) 特定重大事故等対処施設の概要
- (2) 廃止措置の状況

(1) 特定重大事故等対処施設の概要

7

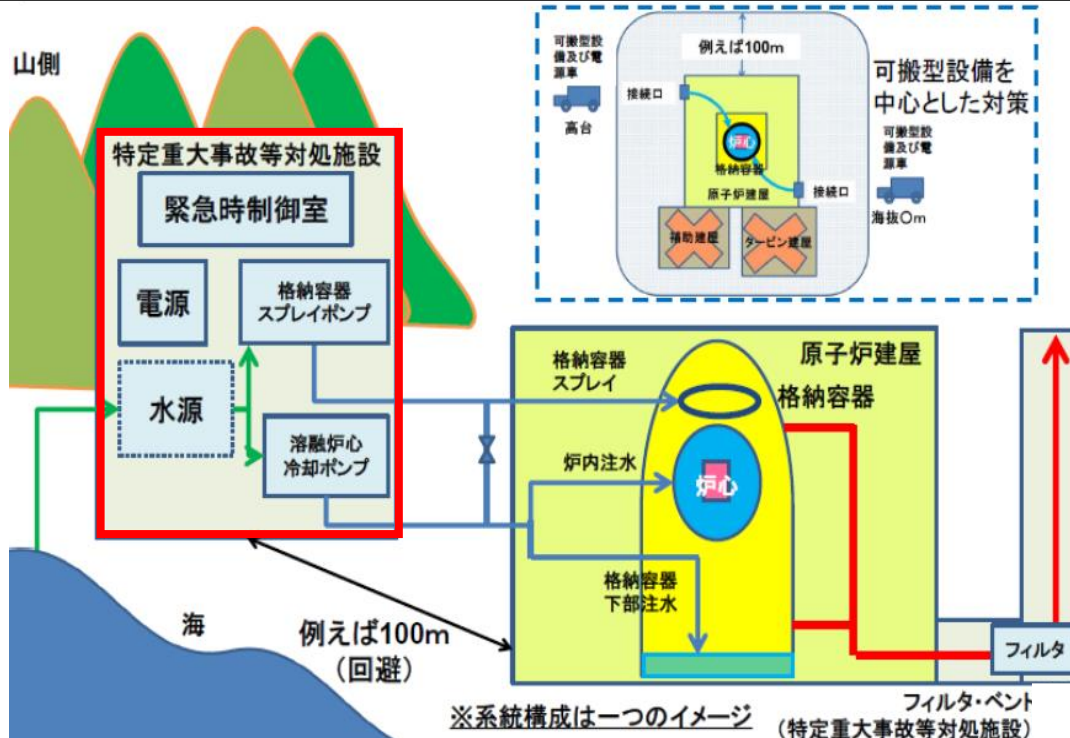
特重施設等については、当社として、発電用原子炉施設の更なる安全向上のために必要なものと認識しており、早期完成に向けて引き続き最大限の努力を継続してまいります。

○高浜 3 号機は2020年12月11日、同 4 号機は2021年3月25日に特重施設の運用を開始

○美浜 3 号機は2022年9月頃、高浜 1 号機は2023年5月頃、高浜 2 号機は2023年6月頃、大飯3号機は2022年12月頃、大飯 4 号機は2022年8月頃に特重施設の運用開始予定。

意図的な航空機衝突などへの対策

- ①意図的な航空機衝突などへの可搬型設備を中心とした対策（可搬型設備・接続口の分散配置）
- ②更にバックアップ対策として常設化を要求（特定重大事故等対処施設の整備）



特重施設
経過措置期限

特重施設等の審査・工事（5年）

本体工事
計画

▽認可

安全対策工事

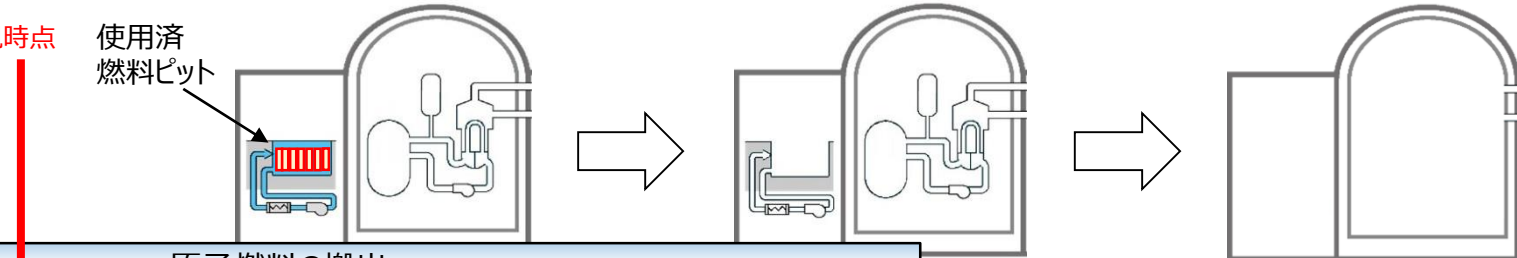
▽合格

使用前検査

運転

措置期限は、本体認可から5年

- 「廃止措置の全体工程」

期 間	2017（認可後） ～2021年度（約5年）	2022～2035年度 （14年）	2036～2041年度 （6年）	2042～2045年度 （4年）
	第1段階 解体準備期間	第2段階 原子炉周辺設備解体撤去期間	第3段階 原子炉領域解体撤去期間	第4段階 建屋等解体撤去期間
全 体 工 程	約30年			
	▼廃止措置計画認可			
	▼廃止措置計画変更認可			
	系統 除染			
	残存放射能調査			
				
	原子燃料の搬出			
	2次系設備の解体撤去			
	原子炉周辺設備の解体撤去			
				原子炉領域の解体撤去
				建屋等の解体撤去

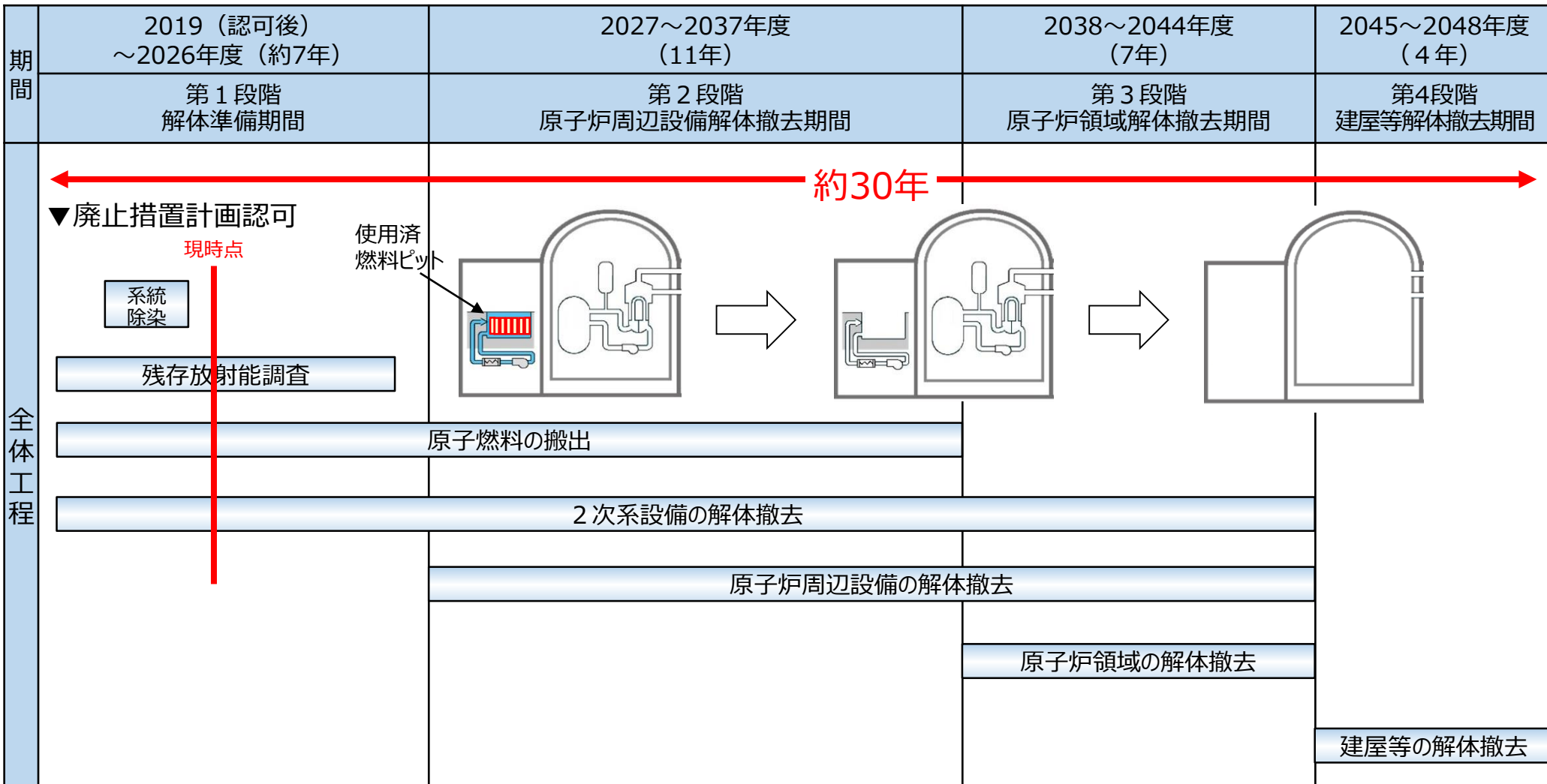
(2) 廃止措置の状況 (大飯 1, 2 号機)

9

○2017年12月22日 廃止を決定し、2018年3月1日をもって廃止

○2019年12月11日 廃止措置計画認可

[廃止措置の全体工程]



- 当社グループがこれまで事業を続けてこられたのは、お客さまや社会・地域の皆さまから賜る信頼のおかげであり、この信頼の源泉となるのが「安全」です。
- 再稼動した発電所の安全運転の実績を一つひとつ積み重ねるとともに、原子力の重要性や安全性について、地元をはじめ広く社会の皆さまにご理解いただけるよう努めてまいります。
- 特重施設等については、当社として、発電用原子炉施設の更なる安全向上のために必要なものと認識しており、早期完成に向けて引き続き最大限の努力を継続していきます。
- 廃止措置の実施にあたっては、必要な対策等を講じ、安全最優先で進めていきます。
- 当社は、信頼回復に全力を尽くすとともに、原子力における日本のリーディングカンパニーを目指し、原子力発電の安全性をたゆまず向上させていきます。